

## 平成 15 年 2 月期第 3 四半期の業績等の概況

会 社 名 株式会社 スギ薬局  
 (コード番号 7649 東証一部・名証一部・大証ヘルス)  
 本社所在地 愛知県安城市二本木町二ツ池 3 3 番地 5  
 問 合 せ 先 責任者役職名 取締役管理本部長  
 氏名 増田 泰朗  
 TEL ( 0566 ) 73 - 6300

## 1. 業 績

(百万円未満切捨、小数第 1 位未満を四捨五入)

## (1) 平成 15 年 2 月期第 3 四半期 (平成 14 年 3 月 1 日 ~ 平成 14 年 11 月 30 日) の業績

	15 年 2 月期第 3 四半期 (当四半期)	対前年同 期増減率	14 年 2 月期第 3 四半期 (前年同四半期)	参 考 前期 (通期)
売 上 高	47,886 百万円	24.5%	38,472 百万円	52,414 百万円
営 業 利 益	2,973	29.4	2,297	3,418
経 常 利 益	3,337	28.5	2,596	3,829

## (2) 商品群別の売上高内訳

	15 年 2 月期第 3 四半期 (当四半期)		対前年同 期増減率 %	14 年 2 月期第 3 四半期 (前年同四半期)		参 考 前期 (通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金額	構成比
	百万円	%		百万円	%	百万円	%
調剤	2,189	4.6	24.8	1,754	4.6	2,398	4.6
ヘルスケア	15,333	32.0	24.2	12,343	32.1	16,997	32.4
ビューティケア	12,336	25.8	27.4	9,683	25.2	13,087	25.0
ホームケア	10,532	22.0	23.2	8,551	22.2	11,547	22.0
パピーケア	3,310	6.9	10.9	2,984	7.8	4,019	7.7
その他	3,877	8.1	33.7	2,900	7.5	4,026	7.7
小計	47,580	99.4	24.5	38,218	99.3	52,077	99.4
その他収入	305	0.6	19.9	254	0.7	337	0.6
合 計	47,886	100.0	24.5	38,472	100.0	52,414	100.0

(注) 対前年同期増減率は、表示単位未満切捨前の数値に基づいて計算しております。

## (3) 主な資産・負債の変動について

項 目	15 年 2 月期第 3 四半期	増減額	前期末
(資 産)	百万円	百万円	百万円
現金及び預金	10,650	934	9,716
商品	8,960	2,301	6,658
建物	3,888	623	3,264
差入保証金	1,692	419	1,273
(負 債)			
買掛金	9,660	3,150	6,510

(注) 当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

## 2. 業績の概況

当四半期におけるわが国の経済は、近年では経験したことのない厳しい雇用環境、今だ解決の糸口が見えてこない不良債権問題、さらに深刻化するデフレと、景気の先行きは依然として厳しい状況が続いております。

このような経済環境にもかかわらず、ドラッグストア業界においては、今まで以上に積極的な出店が続いており、一段と出店競争が激化する状況となっております。

当社の営業地域である中京・関西地区におきましても例外ではなく、深刻化する景気先行き不安で消費マインドはさらに低下しつつあります。

こうした状況の中、当社として初めての関西地区への出店（瀬田店、四条河原町店）を果たし、また、前期に引き続き積極的な出店を続けて、当四半期には24店舗（内、平成14年9月1日～平成14年11月30日は11店舗）を新規出店し、計160店舗となりました。

なお、当四半期の業績の実績と計画値の比較は、末尾の（表4）に記載のとおりであります。

### （売上高）

当四半期の売上高は47,886百万円（前年同四半期比24.5%増、9,413百万円増）となりました。これは、24店舗の新規出店効果と既存店売上の伸び（表1）が起因しているものと考えております。また、来店客数も22,803千人（前年同四半期比28.1%増、5,000千人増）と大幅に増加しております。

主力商品群（調剤、ヘルスケア、ビューティケア）の売上高構成比は62.4%となり、前年同四半期の61.9%から0.5ポイント上昇しております。

（表1）売上高の対前年同月比推移（%）

	平成14年2月期				平成15年2月期								
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全 店	133.9	126.1	131.8	125.9	117.9	129.0	126.9	125.5	122.8	123.9	123.3	127.9	123.3
既存店	109.2	103.0	110.0	104.4	98.5	107.4	109.1	108.2	105.2	106.0	107.4	107.2	104.7

なお、既存店は開店後13ヶ月を経過した店舗を対象に算出しており、対象店舗は時系列で変化します。

### （売上原価および売上総利益）

当四半期の売上原価は34,460百万円（前年同四半期比23.8%増、6,624百万円増）、売上総利益は13,425百万円（前年同四半期比26.2%増、2,788百万円増）となりました。売上総利益率は28.0%と前年同四半期に比べ0.4ポイント改善しました。

### （販売費および一般管理費）

当四半期の販売費および一般管理費は10,451百万円（前年同四半期比25.3%増、2,112百万円増）となりました。売上高に対する販管費の比率は、21.8%と前年同四半期に比べ0.1ポイント上昇しました。販管費の主な増減は、給与手当が前年同四半期に比べ売上高に対して0.5ポイント、賃借料同0.3ポイント上昇し、他方、広告宣伝費および景品費がそれぞれ同0.2ポイント低下しました。

### （営業利益）

当四半期の営業利益は2,973百万円（前年同四半期比29.4%増、675百万円増）となりました。また、営業利益率は6.2%と前年同四半期より0.2ポイント改善しました。

### （その他収益および費用）

当四半期のその他収益および費用は、営業外収益が373百万円（前年同四半期比13.3%増、43百万円増）となりました。営業外収益の主なものは、受取手数料169百万円と広告用器具受贈益96百万円であります。

営業外費用は9百万円（前年同四半期比69.5%減、21百万円減）となりました。

### (当期純利益)

当四半期の当期純利益は1,868百万円(前年同四半期比31.5%増、447百万円増)となりました。売上高に対する比率は3.9%と前年同四半期に比べ0.2ポイント上昇しました。

なお、当四半期に特別損失として固定資産除去損14百万円およびその他特別損失12百万円を計上しております。これは、レセプト処理用コンピューター(レセコン)の機種統一による旧機種の除却と百石店(愛知県安城市。平成2年11月開店)の改築・増床に伴う旧設備の除却等によります。

### (資産、負債、資本)

流動資産は21,946百万円(前期末比21.0%増、3,813百万円増)となりました。現金及び貯金は10,650百万円(前期末比9.6%増、934百万円増)となりました。また、たな卸資産は主に24店舗の新規出店のため商品が増加したこともあり、9,057百万円(前期末比34.3%増、2,310百万円増)となりました。

固定資産は8,389百万円(前期末比19.4%増、1,361百万円増)となりました。これは、新規出店24店舗分の建物及び差入保証金の増加が主なものです。

流動負債は13,655百万円(前期末比34.6%増、3,509百万円増)となりました。売上高の増加に伴い、買掛金が9,660百万円(前期末比48.4%増、3,150百万円増)となりました。

固定負債は697百万円(前期末比9.9%増、63百万円増)となりました。

資本の部の合計は15,982百万円(前期末比11.1%増、1,601百万円増)となりました。平成14年5月13日に開催された第20回定時株主総会決議の利益処分により、別途積立金が1,600百万円増加しております。

以上の結果、総資産は30,336百万円(前期末比20.6%増、5,174百万円増)となりました。

(出店および退店の状況)

当四半期の出店および退店の状況は次の通りです。

(表2) 当四半期の出店店舗(開店日と所在地)

開店年月日	店名	所在地
平成14年3月20日	蒲郡北店	愛知県蒲郡市
平成14年3月27日	西条店	三重県鈴鹿市
平成14年4月3日	砂田橋店	名古屋市東区
平成14年4月26日	メッツ大曾根店	名古屋市東区
平成14年5月29日	松本店	愛知県犬山市
平成14年5月29日	鳴海店	名古屋市緑区
平成14年6月19日	尾西北店	愛知県尾西市
平成14年6月26日	阿倉川店	三重県四日市市
平成14年7月10日	江南団地店	愛知県江南市
平成14年8月1日	松坂中央店	三重県松阪市
平成14年8月7日	イオンタウン弥富店	愛知県海部郡
平成14年8月21日	小幡店	名古屋市守山区
平成14年8月28日	嬉野店	三重県一志郡
平成14年9月25日	瀬田店	滋賀県大津市
平成14年10月2日	日野店	三重県四日市市
平成14年10月2日	パワーシティ四日市店	三重県四日市市
平成14年10月3日	住崎店	愛知県西尾市
平成14年10月9日	岩倉団地店	愛知県岩倉市
平成14年10月16日	四条河原町店	京都市下京区
平成14年10月16日	多治見店	岐阜県多治見市
平成14年10月16日	二重堀店	愛知県小牧市
平成14年11月6日	安八店	岐阜県安八郡
平成14年11月13日	名古屋駅前店	名古屋市中村区
平成14年11月27日	山之手店	愛知県豊田市

(表3) 当四半期の退店店舗(退店日と所在地)

退店年月日	店名	所在地
平成14年9月30日	平坂店	愛知県西尾市

### (キャッシュ・フロー)

当四半期における現金及び現金同等物は、前期末に比較して 2,243 百万円増加し、10,284 百万円(前年同四半期比 28.1%増)となりました。

営業活動の結果得られた資金は 2,566 百万円(前年同四半期比 41.3%増)であり、前年同四半期に較べ 750 百万円増加しました。これは主に、税引前当期純利益が 3,311 百万円(前年同四半期比 31.7%増)となったことによります。

投資活動の結果使用した資金は 61 百万円となりました。これは主に、新規出店に伴う支出 1,676 百万円に対し、ペイオフ対策として固定性預金の払戻等による収入が 1,615 百万円あったことによります。

財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払等による 261 百万円でした。

### 3. 当期の見通し

平成 15 年 2 月期の見通しにつきましては、景気の先行き不安による個人消費の低迷により、引き続き厳しい環境が続くと思われませんが、今期の既存店(開店後 13 ヶ月を経過した店舗のこと)売上高が安定的に推移している状況と今後の販促強化等の企業努力により、今期の業績は計画通りに達成できるものと考えております。

なお、平成 15 年 2 月期通期の新規出店計画数 40 店舗の出店が確保できなくても、業績の見通し(\*1)にはほとんど影響がないと考えております。

(\*1) 15 年 2 月期通期の業績の見通し

売上高 65,000 百万円、経常利益 4,365 百万円、当期純利益 2,466 百万円。

(表4) 当四半期の実績と計画値

	15 年 2 月期第 3 四半期実績 (当四半期実績)	15 年 2 月期第 3 四半期計画 (当四半期計画)	達成率
売上高	47,886 百万円	47,535 百万円	100.7%
営業利益	2,973 百万円	2,875 百万円	103.4%
経常利益	3,337 百万円	3,190 百万円	104.6%

#### (注意事項)

業績の見通しにつきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- 当社営業地域の経済状況の急激な変動
- 薬事法・大規模店舗立地法等の各種規制の大幅な変更
- 薬剤師有資格者の労働市場における需給関係の急激な変動 など